

大石じんじやのはなしをしましょう。

にしのやまへらの ばば
西野山桜ノ馬場

町というところにあります。ここの神さまは**大石良雄**
ちよう かつみ おおいしよしたか

（内蔵助）という人なのです。

ここで、「あれ？人なのに、神さまとしてまつられてるの？」とおもった人もいるかもしれませんね。

こういう例はほかにもあります。たとえば、北野天満宮
れい きたのてんまんぐう

は菅原道真という人を神さまとしてまつています。ま
すがわらのみちまね

た、明治天皇がなくなったあとに、自殺した乃木希典とい
めいじてんのう のぎまれすけ

う人は乃木じんじやにまつられています。人であっても、

この世にこころのこりがあつたときや、その人が生きてい
るときにしたしごとがすごいときなどには神さまとして
まつることがあるのです。

では大石良雄という人はなにをした人なのか、みなさん
はしていますか？それはくわしくはつぎのプリントで
おはなしします。なぜここにじんじやができたかとい
うと、大石良雄がそのあたりにすんでいたからなのです。
元禄十四年（一七〇一）七月からつぎの年の九月までの一
げんろく とし
年とちよつとのことだそうです。

そもそもこの人は赤穂藩（今の兵庫県赤穂市）のおとの
さまにとつては一ばんたいせつな家来でした。それなのに
ここ、山科にすんでいたというのは、しんせきにあたる
やましな しんどうげんしろう
進藤源四郎という人がこえをかけたからといわれています。
す。

じんじやができたのは昭和十年（一九三五）。昭和のは
じめごろにじんじやをたてたい人があつまつて、「大石じ
んじやけんせつかい」ができ、ぼきんをあつめてたてたの
だそうです。

おんどくサインー

① なんのはなしでしょう？

② 大石じんじやにまつられているのはだれで
すか？

③ こういう例とはどんな例ですか？

（ ） なの（ ）

④ 北野天満宮にまつられている人はだれで
すか？

（ ）

⑤ 乃木じんじやにまつられている人はだれで
すか？

（ ）

⑥ 人がまつられるのはどんなときか二つに分
けてかきましょう。

（ ）

（ ）

⑦ なぜ大石良雄は山科にすんでいたのですか？

（ ）

⑧ あつているものに○をつけましょう。

（ ） 大石良雄がお金を出してたてたのが大石じ
んじやである。

（ ） 大石じんじやはぼきんでたてられた。

（ ） 大石じんじやは神さまがたてた。

⑨ おもったことを五行でまとめましょう。

できればは？



大石神社の話をしましょう。西野山桜ノ馬場町にありますね。この神さまは大石良雄（内蔵助）という人です。ここで、「あれ？人間なのに、神さまとしてまつられるの？」と思った人もいるかもしれませんね。

こういう例はほかにもあります。たとえば、北野天満宮は菅原道真という平安時代の右大臣だった人を神さまとしてまつっています。また、明治天皇がなくなったあとに、自殺した乃木希典という人は乃木神社にまつられています。人間であっても、この世に思いをのこしてなくなったことがはつきりしている場合や、その人が生きていたときにした仕事がすごい場合などには神さまとしてまつることがあるのです。

では大石良雄という人はなにをした人なのか、みなさんは知っていますか？それはくわしくは次号でお話します。なぜここに神社ができたかというと、大石良雄がそのあたりにすんでいたからなのです。元禄十四年（二七〇一）七月から翌年九月までの一年とちよつとの間のことだそうです。

そもそもこの人は赤穂藩（今の兵庫県赤穂市）の家老でした。家老というのはおとのさまにとっては一番大切な家来です。それがここ山科に住んでいたというのは、しんせきにあたる進藤源四郎という人が声をかけたからといわれています。

神社ができたのは昭和十年（一九三五）。昭和のはじめごろに神社をたてたい人が集まって、「大石神社建設会」ができ、募金を集めてたてたのだそうです。

音読サイン↓

① なんの話でしょう？

（

② 大石神社にまつられているのはだれですか？

（

③ こういう例とはどんな例ですか？

（

④ 北野天満宮にまつられている人はだれですか？

（

⑤ 乃木神社にまつられている人はだれですか？

（

⑥ 人間がまつられるのはどんな場合か二つに分けて書きましょう。

（

（

⑦ なぜ大石良雄は山科にすんでいたのですか？

（

⑧ あっているものに○をつけましょう。

（ ） 大石良雄がお金を出してたてた神社が大石神社である。

（ ） 大石神社は募金を集めてたてられた。

（ ） 大石神社は神さまが建てた。

⑨ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できればは？



大石神社の話をしましょう。西野山桜ノ馬場町にありますね。御祭神は大石良雄よしたか（内蔵助くらゐのすけ）です。

ここで、「あれ？人間なのに、神様としてまつられてるの？」と思った人もいるかもしれませんね。

こういう例はほかにもあります。たとえば、北野天満宮すがわらのみちのねは菅原道真という平安時代の右大臣だった人を神様としてまつっています。また、明治天皇が亡くなった後で、後追い自殺した乃木希典のぎまれすけという人は乃木神社にまつられています。人間であつても、この世に思いを残して亡くなつたことがはつきりしている場合や、その人が生きているときにした仕事がすごい場合などには神様としてまつることがあるのです。

では大石良雄という人は一体何をした人なのか、みなさんは知っていますか？それはくわしくは次号でお話します。なぜここに神社ができたかというと、大石良雄がそのあたりにすんでいたからなのです。元禄十四年（一七〇二）七月から翌年九月までの一年とちよつとの間のことだそうです。

そもそもこの人は赤穂藩（今の兵庫県赤穂市）の家老かろうでした。家老というのはお殿様にとつては一番大切な家来です。それがここ山科に住んでいたというのは、親せきにあたる進藤源四郎という人が声をかけたからといわれています。

神社ができたのは昭和十年（一九三五）。昭和のはじめごろに神社を建てたい人が集まつて、「大石神社建設会」ができ、募金を集めて建てたのだそうです。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

（

② 大石神社にまつられているのはだれですか？

（

③ こういう例とはどんな例ですか？

（

④ 北野天満宮にまつられている人はだれですか？

（

⑤ 乃木神社の御祭神はだれですか？

（

⑥ 人間がまつられるのはどんな場合か二つに分けて書きましょう。

（

（

⑦ なぜ大石良雄は山科にすんでいたのですか？

（

⑧ あつているものに○をつけましょう。

（ ） 大石良雄がお金を出して建てた神社が大石神社である。

（ ） 大石神社は募金を集めて建てられた。

（ ） 大石神社は神様が建てた。

⑨ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できればは？

